

ヤスクニ・レポ 245

「戦後75年、アジア諸国との和解と平和のために」

～「靖国のつどい」代表・西川重則氏(日本キリスト改革派東京教会名誉長老) 召天によせて～
吉村弘司(日本キリスト改革派大宮教会・会員)

序 先月、7月23日(木)午前10時41分に靖国の「つどい」(略称)の西川重則代表が老衰のため、療養先「熱海温泉すみれ」で召天(92才)されました。葬儀は、東京教会の今井献牧師の司式で、7月25日(土)に近くの斎場で家族葬としてなされたことが、ご遺族から報告されました。遺されたご遺族の皆様は主イエス・キリストの慰めと平安をお祈りします。

昨年6月22日(土)に「重慶大爆撃の被害者と連帯する会・東京」の事務局長として同会の会合に出席後、路上で転倒(打撲)し、近くの病院に緊急入院されました。その後、7月19日(金)に国分寺病院(リハビリ病院)にて転院・治療後、12月末から「熱海温泉すみれ」で療養中でした。西川重則代表は、靖国の「つどい」代表として1968年から52年間、主にあつて本会の働きをされました。特に、昨年6月まで、約20年間、欠かさず国会傍聴をなさり、本会の例会(毎月、第3金曜日)では、毎回、報告(ヤスクニ通信1~235号)されました。同内容(ヤスクニ通信1999.8~2008.11)は、「有事法制下の靖国神社 国会傍聴10年、わたしが見たこと聞いたこと」(西川重則著:梨の木舎2009.2.11)として出版されました。その後(10年余:2008.12~2019.6)の内容の続編・出版を本人が希望されていなかったので、今後の検討課題です。西川氏の召天の報に接した、東京基督教大学の山口陽一牧師(同学長)から、西川重則名誉長老からは、本当に多くのことを学ばせていただきましたので、是非、同氏の働きをまとめて出版して欲しいと要望され、西川氏の著書リスト・関係団体リストが送付されました。同様な声は、他の方々からもお聞きしました。

1.「第3回 戦争に関する「証言集会」～侵略と加害の歴史を繰り返さないために～」場所:日本基督教団新

宿西教会、主催:日韓教会協議会(2018.9.14)レジュメの転載。

「証言集会の参加者と共に学び合ひましょう」

証言者:西川重則氏(91才)

1-1 自己紹介 1927年8月27日生まれ。現在91歳。旧制 香川県県立丸亀中学校入学、3年生の時、海軍飛行予科練習生(予科練)に入隊、徳島航空隊で敗戦(1945年8月15日)。故郷に帰り、農業に従事。その後、東京の日本キリスト改革派教会(東京恩寵教会でキリスト者に。常葉隆興牧師から洗礼を受けた)に所属し、現在、東京教会の会員として、信仰生活に励んでいる。一方、9種類の運動(1)にかかわっている。国会傍聴は1999年以降、今日まで19年以上、休むことなく続けている。

1-2 国際連帯の立場に立って、世界の平和の確立を目指している。なお、アメリカ、ドイツ、フランスなどに招かれ、アジアの国々(韓国・中国)には、何度も行くことを許され、学び合う機会を与えられている。外国でも講演を依頼される場合が多くあったが、日本では、現在、毎月、憲法の講演を依頼され、厳しい政治状況にあつて、憲法改悪、戦争反対の訴えをつづけている。中国との関係では、南京大虐殺(1937年12月13日その他)をめぐる重大な問題、「日本の侵略軍の進出するところでは、都市、農村を問わず、至るところで虐殺、強姦、略奪、放火、そして破壊という悲惨な状況を呈した。・・・(高興祖『日軍侵華暴行—南京大虐殺』より)」。上記の文章は『昭和史の消せない真実』(岩波書店)によるが、「アジアは戦争を忘れない」(1992.1 軍縮問題資料)とある通り、日本がアジアに対して行なった「侵略・加害」の事実は、書き切れないほどの歴史の事実であり、その認識を共有し、国境を越えた連帯による、平和なアジア・

1 「靖国神社国営化反対福音主義キリスト者の集い」代表、「キリスト者遺族の会」実行委員長、「政教分離の侵害を監視する全国会議」事務局長(1974~2017.11迄、現:常任幹事)、「平和遺族会全国連絡会」代表、「NCC 靖国神社問

題委員会」委員、「戦没者追悼平和祈念館」問題連絡協議会代表、「戦争被害調査会法を実現する市民会議」共同代表、「とめよう戦争への道!百万人署名運動」事務局長、「重慶大爆撃の被害者と連帯する会・東京」事務局長、「国立市憲法連続講座」講師

世界の実現のために、日本はどうあるべきか。第3回 戦争に関する「証言集会」～侵略と加害の歴史を繰り返さないために、私たちの学ぶべきこと、なすべきことが、いかに多いかを痛感させられている私である。証言集会の参加者と共に励み、学び合い、訴えましょう。「**平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。**」(マタイによる福音書5章9節)「**正義を洪水のように、恵みの業を大河のように 尽きることなく流れさせよ。**」(アモス書5章24節) **西川重則**(にしかわ・しげのり:1927.8.27～2020.7.23 召天:92歳)

【著書】『靖国法案の五年・撤回をめざす戦いの記録』(すぐ書房1974.4.15)、『靖国法案の展望』(すぐ書房:1976.9.5)、『宗教弾圧を語る』(岩波新書、小池健治・西川重則・村上重良・共著1978.10.20)、『天皇の神社靖国・増補版』(梨の木舎:1988.4.29)、『主の「正義」と今日の日本』(いのちのことば社1993.12.1)、『平和を創り出すために』(いのちのことば社1997.5.3)、『「昭和館」ものがたり』(いのちのことば社1999.6.30)、『「新遊就館」ものがたり』(いのちのことば社2003.7.13発行)、『わたしたちの憲法～前文から第103条まで～』(いのちのことば社2005.10.15)、『これから戦争なんてないよね?～自由がふつつじゃなくなる日』(にしかわしげのり・みなみ ななみ共著いのちのことば社2006.10.30)、『教科書に書かれなかった戦争PART 51・有事法制下の靖国神社 国会傍聴10年、わたしが見たこと聞いたこと』(梨の木舎2009.2.11)

2. 戦後75年、アジア諸国との和解と平和のために！ 西川重則代表の主にある歴史の証言者の志を心に刻んで！

下記は、西川重則氏の証言集会(2018.9.14)後の応答発言(吉村弘司)を下に作成。

2-1 日本のアジア諸国への侵略・加害の事実を日本人が知り、謝罪と和解を目指した歴史の証言者として

1980年代に教科書問題の関連で、アジアの証言集会の発起人などの働きを通して、教科書に載せられなかった侵略・加害の歴史の事実を日本国民が知らされました。現在、日本ではまだ周知されていない「中国の重慶大爆撃の被害者と連帯する会・東京」の支援・謝罪の働きは、日本人が担うべき戦争責任の課題です。日本の戦没者遺族の立場から、全国平和遺族会〔日本遺族会に対して、アジアの侵略・加害の立場から、故・小川武満氏(牧師・医師)代表後、同会代表〕として毎年、8月15日の敗戦記念日などを中心に、日本の宗教者・非宗教者を問わずに連帯して日本の平和構築のため尽力した。

2-2 聖書の平和の理念に通ずる国民主権・基本的人権・平和主義の3原則)の適用を求めた「はだかの国会」の証言者(「国会傍聴」:約20年)、「日本各地の政教分離関連訴訟支援」者として

長老職70歳定年時に毎日、国会傍聴をなそうと主にあつて決意され、『有事法制下の靖国神社～国会傍聴10年、わたしが見たこと聞いたこと』は、憲法に従うべき国会が、1930年代の「暗夜の予兆の年」と同様の戦争への道につき進む「はだかの国会」の証言集です。「国会傍聴を続ける私は、歴史の事実学ぶことが最も重要であると思っている。特に1868年以後1945年までに、日本がアジアに対して何をしたのかを、歴史の事実に基づいて学び、その検証によって歴史認識を他者と共有することを願っている。」主にあつて、アジアと世界の平和のために、自民族中心の戦前の国のありかたから、共生の道を求め続けられています。特に、「政教分離の侵害を監視する全国会議」の事務局長として(2017.11迄、現:常任幹事)1974年の設立から関わり、日本各地の政教分離に関連した訴訟(津地鎮祭違憲訴訟、岩手靖国違憲訴訟、中谷氏の夫の「自衛官合祀拒否訴訟」他)と関わりました。当初、キリスト教出版社(新教出版)の編集に従事しつつ、日本社会の平和運動に取組まれました。

同社の定年前に退職し、靖国問題の専門家として、1990年には、昭和天皇の逝去に伴う「明仁天皇の即位の礼・大嘗祭」関連国会では、怒号の中、命懸けで意見陳述もされました。その内容は、日本国憲法の「信教の自由」と「政教分離」原則から、国の関与は違法との証言でした。

2-3 聖書の平和理念実現のため、政教分離、憲法前文、9条(戦争放棄)他の日本国憲法原則の習熟を日本の教会・信徒に聖書を土台に奨めた生涯でした。

ヤスクニの「つどい」(略称)代表として取組んできた「靖国神社問題・天皇制問題」は、日本伝道の根本課題として、「慰霊」と「追悼」の峻別の必要性、「信教の自由」と「政教分離」(20条)と平和憲法前文、9条(戦争放棄)他の原則を日本の教会、日本の社会に証することが、主から託された使命と述べられました。「**平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。**」の言葉を土台に、日本の教会・クリスチャンが主の平和実現のために、聖書の御言葉、特に、日本キリスト改革派教会の信仰に立って発言し、労されました。神の栄光のため、主日礼拝、祈祷会を最重要とした信仰生活・教会生活でした。(2020.8.3記)